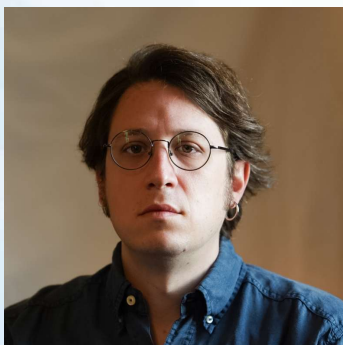


# An Architecture of Denial: Western Metaphysics, Buddhist Thought, and the Wound of Transience



Speaker

**Tomaso Pignocchi**

Catholic University of Paris /  
University of Rome-LUMSA

Pignocchi氏はCatholic University of ParisとUniversity of Rome-LUMSAのPhD candidateで、すでに国際的に活躍している研究者です。ヴィトゲンシュタインとナーガールジュナの研究を核として、同氏は基盤を求める欲望そのものを診断し解体することができる「治療的な哲学」を提唱しています。そして、日常的な世界に対する私たちの関係性を変容し、そのイメージを解きほぐすことの重要性を語ろうとしています。新しい哲学の胎動を感じさせるトークとなることが予想されます。ご関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

講演日時

2026年 **6月15日**(月) 16:30-18:00

言語

英語

会場

北海道大学中央キャンパス総合研究棟2号館 3階 CHAIN セミナールーム  
及びZoom配信（オンライン参加のみ要登録。現地参加は登録不要。）

登録はこちらから



主催：人間知・脳・AI研究教育センター(CHAIN)

共催：ムーンショット目標9「逆境の中でも前向きに生きられる社会の実現」  
(代表・山田真希子)、研究題目「前向きの意味と倫理」(田口 茂)

問い合わせ先：tag[at]let.hokudai.ac.jp

